

〔卒業後の状況調査〕

1 中学校卒業生

- (1) 平成30年3月の中学校卒業生数は54,798人（男子27,991人、女子26,807人）で、前年より390人（0.7%）減少している。
- ①「高等学校等進学者」は54,170人（男子27,615人、女子26,555人）で、前年より386人（0.7%）減少している。
- ②「専修学校（高等課程）進学者」は71人（男子31人、女子40人）で、前年より7人（9.0%）減少している。
- ③「専修学校（一般課程）等入学者」は32人（男子17人、女子15人）となっている。
- ④「公共職業能力開発施設等入学者」は20人（男子19人、女子1人）となっている。
- ⑤「就職者（進学者は含まない）」は86人（男子73人、女子13人）で、前年より43人（33.3%）減少している。
- ⑥「左記以外の者」は419人（男子236人、女子183人）で、前年より60人（16.7%）増加している。
- ⑦「不詳・死亡の者」は0人で、前年度より3人減少している。

図13 中学校卒業生数及び進学率の推移

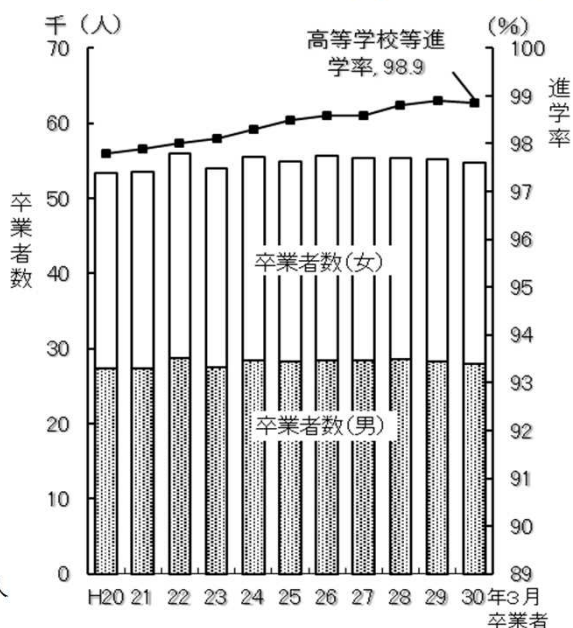


表13 中学校の進路別卒業生数

区 分	卒業生数	高等学校等進学者		専修学校（高等課程）進学者		公共職業能力開発施設等入学者 D	就職者	左記以外の者 ※	不詳・死亡の者	ABCDのうち就職している者(再掲)	高等学校等進学者のうち進学率		就職率
		うち通信制課程を除く A	うち通信制課程を除く B	専修学校（一般課程）等入学者 C	専修学校（一般課程）等入学者 C						進学率 (%)	通信制課程を除く (%)	
平成20年	53,415	52,225	51,749	90	74	37	332	652	5	10	97.8	96.9	0.6
21	53,584	52,439	51,844	118	80	30	210	703	4	4	97.9	96.8	0.4
22	56,030	54,888	54,185	128	91	41	202	671	9	15	98.0	96.7	0.4
23	53,963	52,959	52,354	142	92	29	158	581	2	8	98.1	97.0	0.3
24	55,569	54,606	53,995	115	99	28	187	532	2	10	98.3	97.2	0.4
25	54,860	54,029	53,478	131	70	28	141	460	1	4	98.5	97.5	0.3
26	55,647	54,845	54,283	126	66	24	150	429	7	7	98.6	97.5	0.3
27	55,334	54,577	53,943	103	64	20	162	398	10	5	98.6	97.5	0.3
28	55,425	54,760	53,999	87	34	23	123	395	3	5	98.8	97.4	0.2
29	55,188	54,556	53,591	78	43	20	129	359	3	10	98.9	97.1	0.3
30	54,798	54,170	53,223	71	32	20	86	419	-	10	98.9	97.1	0.2

※平成30年度から、臨時労働者及び雇用契約期間が一年以上かつフルタイム勤務相当でない者は、左記以外の者に含めた。

- (2) 高等学校等進学者のうち、高等学校の通信制課程（本科）へ進学した者を除いた進学者数は53,223人で前年より368人減少し、男子は27,148人で前年より221人減少し、女子は26,075人で前年より147人減少している。
- 高等学校等進学率（全卒業生数のうち高等学校等進学者の占める割合）は98.9%となっている。このうち高等学校の通信制課程（本科）へ進学した者を除いた進学率は97.1%で、前年と同率であった。男子は97.0%で前年と同率、女子も97.3%で前年と同率であった。
- 男女別の進学率は、昭和42年以降女子の進学率が男子の進学率を上回っている。
- (3) 就職者総数（「就職者」に「高等学校等進学者」・「専修学校（高等課程）進学者」・「専修学校（一般課程）等入学者」及び「公共職業能力開発施設等入学者」のうち就職している者を加えた全就職者数）は96人（男子82人、女子14人）で、前年より43人減少している。
- ①就職率（全卒業生のうち就職者総数の占める比率）は0.2%で、前年より0.1ポイント低下している。
- ②就職者総数を産業部門別にみると、最も多いのが第2次産業の50人（就職者総数の52.1%）で、次いで第3次産業の37人（同38.5%）となっている。
- ③就職者総数のうち県外（出身中学校が所在する県以外の県）へ就職した者は15人で、就職者総数の15.6%であり、前年より0.5ポイント上昇している。

2 義務教育学校

- (1) 平成30年3月の義務教育学校卒業生数は110人（男子58人，女子52人）である。
- ①「高等学校等進学者」は109人（男子58人，女子51人）である。
- ②「専修学校（高等課程）進学者」，「専修学校（一般課程）等入学者」及び「公共職業能力開発施設等入学者」は0人である。
- ③「就職者（進学者は含まない）」は0人である。
- ④「左記以外の者」は1人（女子1人）である。

3 高等学校（全日制課程・定時制課程）卒業生

- (1) 平成30年3月の高等学校卒業生は49,149人（男子25,092人，女子24,057人）で，前年より181人（0.4%）減少している。卒業生の進路別内訳は，「大学等進学者」27,381人，「専修学校（専門課程）進学者」8,828人，「専修学校（一般課程）等入学者」3,292人，「就職者」6,494人，「一時的な仕事に就いた者」501人，「左記以外の者」2,543人，「不詳・死亡の者」5人となっている。
- (2) 大学等進学者数は27,381人（男子13,597人，女子13,784人）で，前年より85人（0.3%）減少している。
- 進学率（全卒業生数のうち大学等進学者の占める比率）は55.7%（男子54.2%，女子57.3%）となっている。
- このうち，大学・短期大学の通信教育部に進学した者を除いた進学率は55.6%で，前年と同率である。
- 男女別の進学率は，8年連続で女子の進学率が男子の進学率を上回っている。
- (3) 専修学校（専門課程）進学者は8,828人（男子3,541人，女子5,287人）で，進学率は18.0%で，前年度より0.2上昇している。

図14 高等学校卒業生数，進学率及び就職率の推移

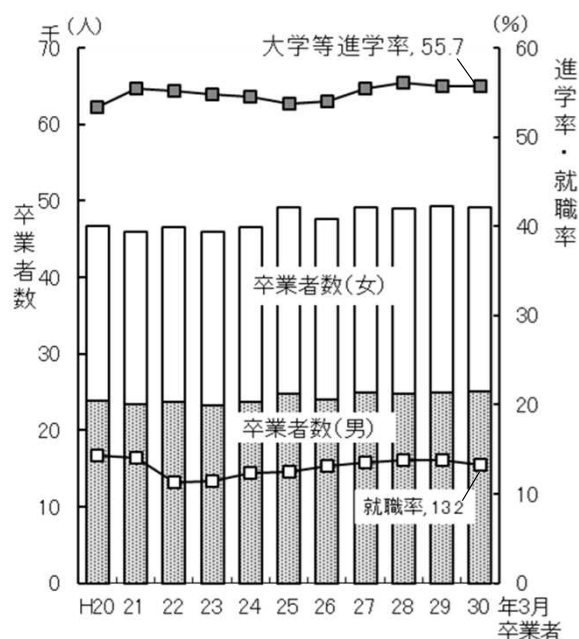


表14 高等学校の進路別卒業生数

区分	卒業生数	大学等 進学者	うち通信教 育部を除く A	専修学校 (専門課程) 進学者 B	専修学校 (一般課程) 等入学者 C	公共職業 能力開発 施設等入 学者 D	就職者	一時的な 仕事に 就いた者	左記 以外の 者	不詳・ 死亡の 者	ABCDのうち 就職してい る者(再掲)	大学等 進学率 (%)	通信教育 部を除く	就職率 (%)
平成20年	46,767	24,993	24,972	7,630	4,212	126	6,668	932	2,202	2	10	53.4	53.4	14.3
21	45,982	25,453	25,426	6,917	3,980	116	6,404	1,056	2,056	-	19	55.4	55.3	14.0
22	46,579	25,710	25,686	7,748	4,070	120	5,271	1,266	2,389	5	12	55.2	55.1	11.3
23	45,990	25,200	25,178	7,703	4,019	136	5,285	1,065	2,575	7	11	54.8	54.7	11.5
24	46,565	25,359	25,337	8,347	3,434	132	5,741	916	2,627	9	11	54.5	54.4	12.4
25	49,111	26,403	26,389	9,082	3,492	150	6,131	837	3,015	1	11	53.8	53.7	12.5
26	47,553	25,665	25,649	9,038	2,994	110	6,258	885	2,598	5	4	54.0	53.9	13.2
27	49,065	27,214	27,192	9,064	3,000	95	6,621	552	2,517	2	6	55.5	55.4	13.5
28	48,944	27,451	27,433	8,734	3,909	104	6,719	593	1,429	5	11	56.1	56.0	13.8
29	49,330	27,466	27,450	8,766	2,947	121	6,808	572	2,648	2	2	55.7	55.6	13.8
30	49,149	27,381	27,348	8,828	3,292	105	6,494	501	2,543	5	9	55.7	55.6	13.2

- (4) 就職者総数（「就職者」に「大学等進学者」・「専修学校（専門課程）進学者」・「専修学校（一般課程）等入学者」及び「公共職業能力開発施設等入学者」のうち就職している者を加えた全就職者数）は6,503人で、前年より307人（4.5%）減少している。
- ① 就職率は13.2%で、前年度より0.6ポイント低下している。
 - ② 就職者総数を産業別にみると、製造業が1,720人（就職者総数の26.4%）で最も多く、次いで卸売業・小売業830人（同12.8%）、公務（他に分類されるものを除く）が565人（同8.7%）等となっている。
男女別にみると、男子は、製造業が1,248人（男子就職者総数の33.0%）が最も多く、女子では、卸売業・小売業が475人（女子就職者総数の17.5%）と最も多くなっている。
 - ③ 就職者総数を職業別にみると、生産工程従事者が1,696人（就職者総数の26.1%）と最も多く、次いでサービス職業従事者1,302人（同20.0%）等となっている。
男女別にみると、男子は、生産工程従事者が1,356人（男子就職者総数の35.9%）、女子では、サービス職業従事者が883人（女子就職者総数の32.4%）と最も多くなっている。
 - ④ 就職者総数のうち、県外（出身高等学校が所在する県以外の県）へ就職した者は、1,305人（前年1,385人）で、就職者総数の20.1%であり、前年より0.2ポイント低下している。

図15 高等学校卒業者の男女別にみた主な産業別就職者数の比

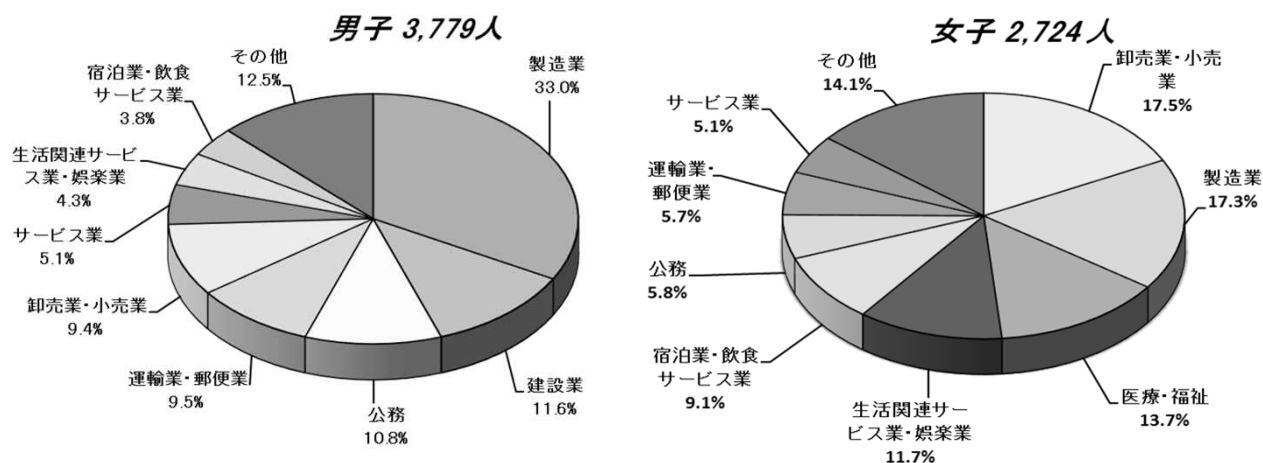
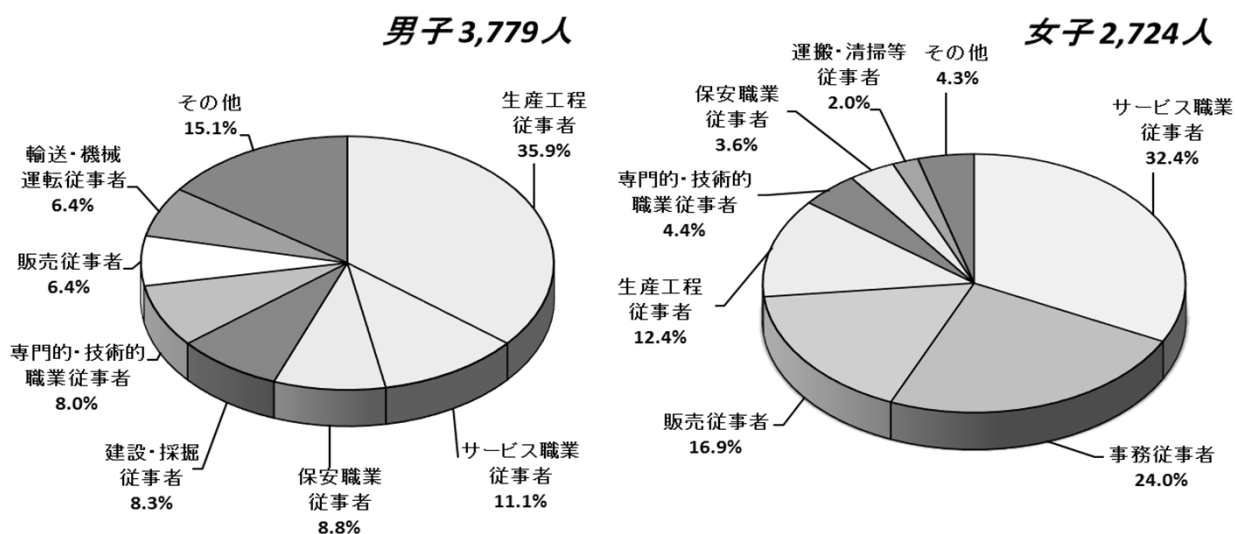


図16 高等学校卒業者の男女別にみた主な職業別就職者数の比



4 高等学校（通信制課程）卒業者

平成29年度間の高等学校（通信制課程）の卒業者数は2,446人（男子1,285人，女子1,161人）で，前年度間より746人増加している。

卒業者の進路別内訳は，「大学等進学者」440人（卒業者に占める比率18.0%），「専修学校（専門課程）進学者」584人（同23.9%），「専修学校（一般課程）等入学者」21人（同0.9%），「公共職業能力開発施設等入学者」5人（同0.2%），「就職者」464人（同19.0%），「上記以外の者」932人（同38.1%）となっている。

5 特別支援学校（中学部・高等部）の卒業者

(1) 平成30年3月の特別支援学校中学部の卒業者数は451人で，前年に比べ3人減少している。

卒業者のうち高等学校等進学者数は，447人（卒業者に占める比率99.1%）となっている。

(2) 平成30年3月の特別支援学校高等部の卒業者数は1,084人で，昨年より35人増加している。

①卒業者のうち大学等進学者数は，35人（卒業者に占める比率3.2%）となっている。

②卒業者のうち就職者数は，424人（卒業者に占める比率39.1%）となっている。

〔不 就 学 学 齡 児 童 生 徒 調 査〕

- 1 就学免除者
就学免除者数は学齡児童（6歳～11歳）3人，学齡生徒（12歳～14歳）1人となっている。
- 2 就学猶予者
就学猶予者数は学齡児童7人，学齡生徒3人となっている。
- 3 1年以上居住不明者
1年以上居住不明者数は，学齡児童及び学齡生徒共に0人となっている。
- 4 学齡児童生徒死亡者
平成29年度間に死亡した学齡児童は13人，学齡生徒は15人となっている。

〔学 校 施 設 調 査〕

- 1 学校土地面積
私立学校の土地面積は5,741,165㎡（設置者所有4,950,164㎡，借用 791,001㎡）であった。
公立学校（幼保連携型認定こども園，専修学校）の土地面積は490,450㎡（設置者所有479,000㎡，借用 11,450㎡）であった。
- 2 学校建物面積
私立学校の建物面積は2,017,811㎡（設置者所有 1,993,112㎡，借用24,699㎡）であった。
公立学校（幼保連携型認定こども園，専修学校）の建物面積は83,953㎡（設置者所有83,953㎡）であった。

注）調査対象は私立の各学校（幼稚園，幼保連携型認定こども園，小学校，中学校，高等学校，専修学校，各種学校）及び公立の幼保連携型認定こども園と専修学校である。